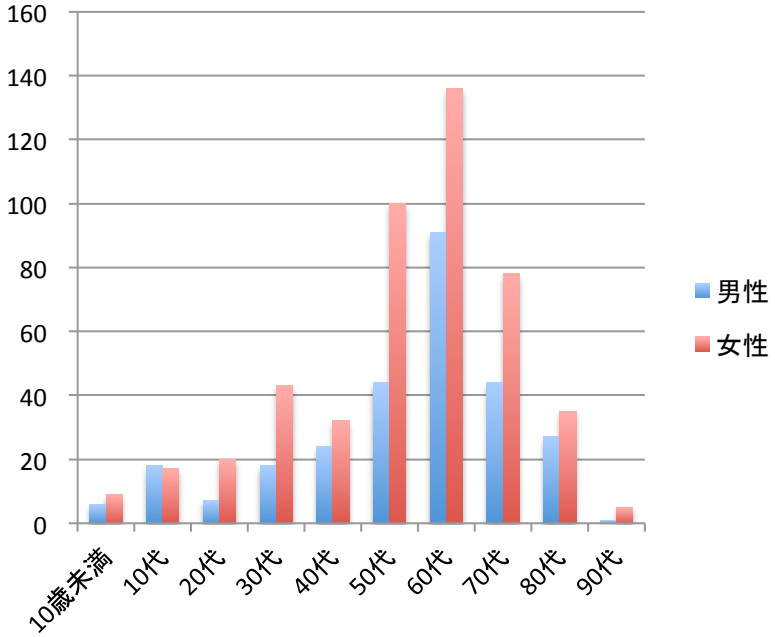
相馬市
仮設住宅･玉野地区
健康診断報告書

①受診された方の分布

全体で755人が受診されました。2歳から96歳の方まで、年齢の中央値は61.0歳。65歳以上の方は299人でした。男性は280人女性は475人でした。
柚木および大野台での受診者は298人、保健センターでの受診者は271人、玉野地区での受診者は186人でした。



②治療中の病気

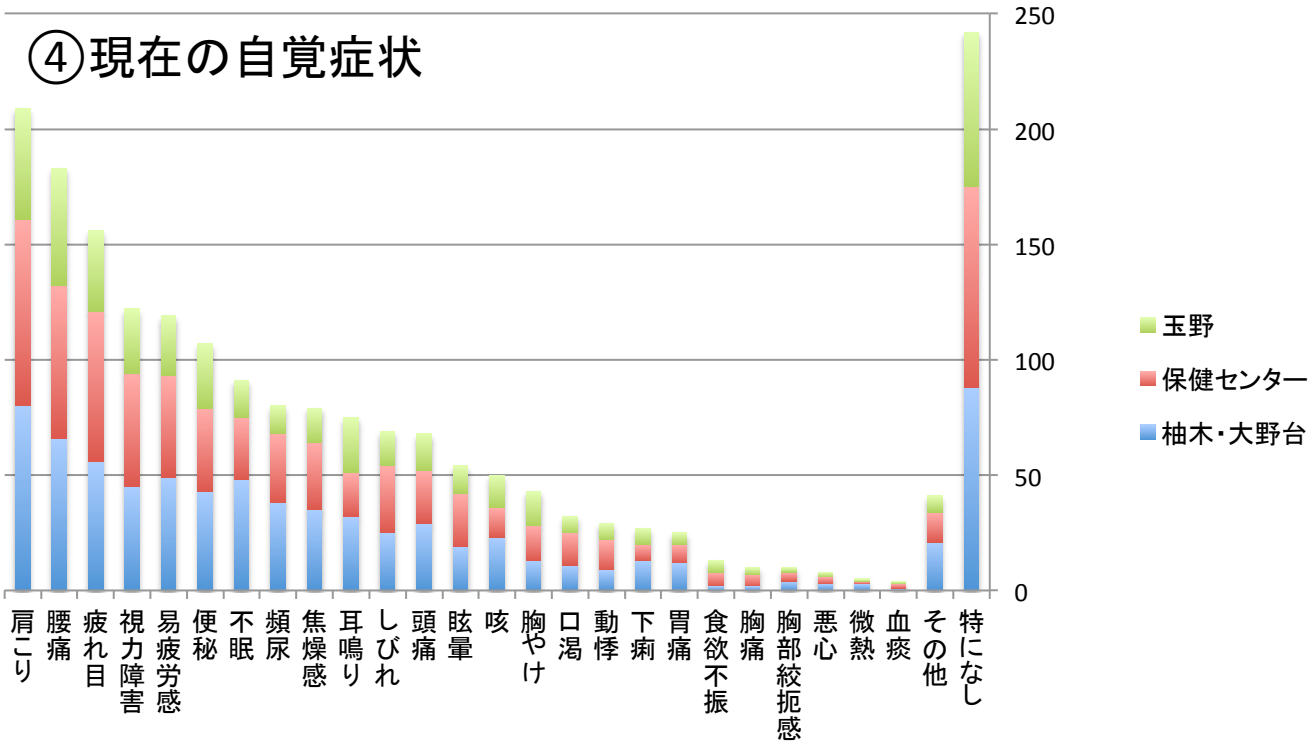
高血圧235人, 高脂血症62人, 糖尿病57人, 骨粗鬆症5人でした。

③受診者背景

	柚木・大野台	保健センター	玉野地区
人数	298人	271人	186人
年齢中央値	63.0 (11-92)	58.0 (3-96)	62.0 (2-93)
男 / 女	92 / 206人	103 / 168人	85 / 101人

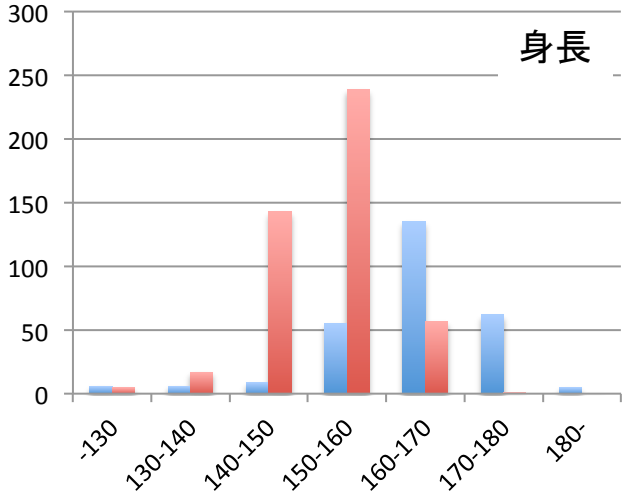
柚木・大野台は市街地から離れた仮設住宅、保健センターは借り上げアパートなどのみなし仮設住宅や市街地そばの仮設住宅、玉野地区は高線量地域の住民が対象です。

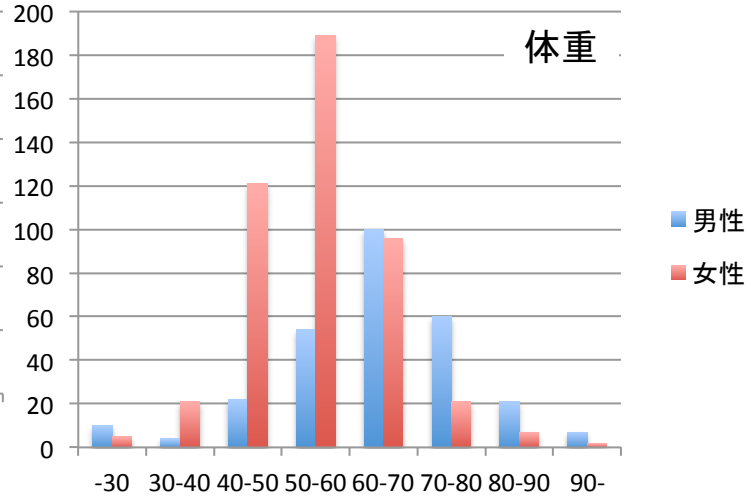
④現在の自覚症状



柚木・大野台は市街地から離れた仮設住宅、保健センターは借り上げアパートなどのみなし仮設住宅や市街地そばの仮設住宅、玉野地区は高線量地域の住民が対象です。

⑤身長・体重の分布



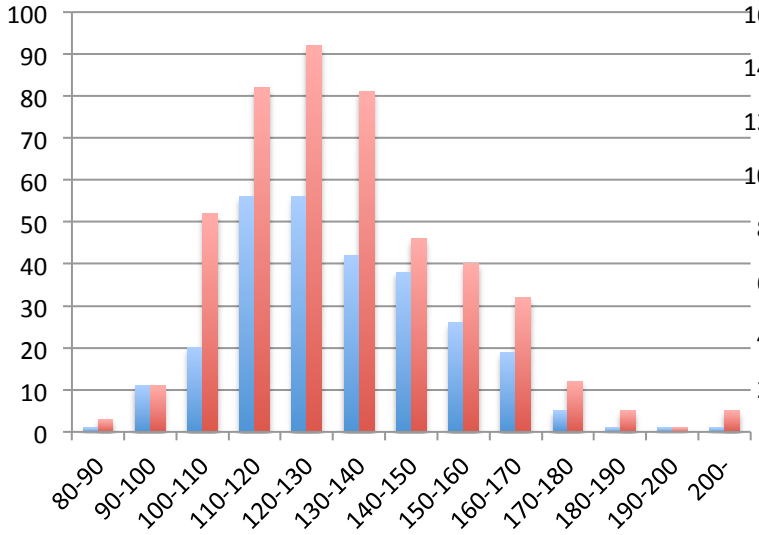


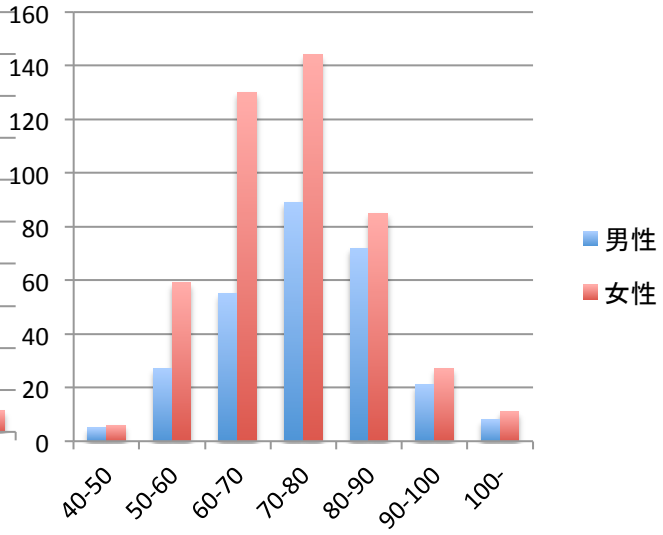
	柚木・大野台	保健センター	玉野地区
身長・体重を測定した人数	291 人	266 人	183 人
肥満だった人の数	125 人	83 人	59 人
肥満だった人の割合	43.0 %	31.2 %	32.2 %

柚木・大野台は市街地から離れた仮設住宅、保健センターは借り上げアパートなどのみなし仮設住宅や市街地そばの仮設住宅、玉野地区は高線量地域の住民が対象です。

参考：BMIが25以上の人を肥満と判定しています。
＜BMIとは？＞
BMI (Body Mass Index) = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)
例：体重64kg、身長160cmの人はBMI = 64 ÷ 1.6 ÷ 1.6 = 25 となります。

⑥血圧の値の分布（左図：収縮期血圧、右図：拡張期血圧）





⑥血圧つづき

収縮期血圧が140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上の方を高血圧としています。

	柚木・大野台	保健センター	玉野地区
血圧を測定した人数	291 人	265人	183 人
高血圧だった人の数	77 人	44 人	29 人
高血圧だった人の割合	26.5 %	16.6 %	15.8 %

柚木・大野台は市街地から離れた仮設住宅、保健センターは借り上げアパートなどのみなし仮設住宅や市街地そばの仮設住宅、玉野地区は高線量地域の住民が対象です。

⑦脂質異常症(善玉・悪玉コレステロール・中性脂肪)について

採血検査で悪玉コレステロールや中性脂肪の値が高かった人や善玉コレステロールの値が低かった人を脂質異常症と判定しました。

	柚木・大野台	保健センター	玉野地区
採血検査をした人数	292 人	262 人	182 人
脂質異常症の人数	111 人	102 人	67 人
脂質異常症の人の割合	38.0 %	38.9 %	36.8 %

柚木・大野台は市街地から離れた仮設住宅、保健センターは借り上げアパートなどのみなし仮設住宅や市街地そばの仮設住宅、玉野地区は高線量地域の住民が対象です。

⑧糖尿病関連について

HbA1cが6.1以上の人を糖尿病疑いとしました。

	柚木・大野台	保健センター	玉野地区
採血検査をした人数	292 人	262 人	182 人
糖尿病疑いの人数	33人	18人	12人
糖尿病疑いの人の割合	11.3 %	6.9 %	6.6 %

柚木・大野台は市街地から離れた仮設住宅、保健センターは借り上げアパートなどのみなし仮設住宅や市街地そばの仮設住宅、玉野地区は高線量地域の住民が対象です。

⑨骨粗鬆症検査について

40歳未満の希望者と40歳以上の方を対象として、踵の骨を超音波で検査しました。

	柚木・大野台	保健センター	玉野地区
骨粗鬆症検査をした人数	284 人	251 人	154 人
要精密検査となった人数	50 人	42 人	34 人
要精密検査となった割合	17.6 %	16.7 %	22.1 %

柚木・大野台は市街地から離れた仮設住宅、保健センターは借り上げアパートなどのみなし仮設住宅や市街地そばの仮設住宅、玉野地区は高線量地域の住民が対象です。

＊判定は老人保健法による骨粗鬆症予防マニュアル第2版に準拠しました。

⑩運動器健診について

65歳未満の希望者と65歳以上の方で危険なく測定できる方を対象として下記3つのテストで運動機能を評価しました。検査をしたのは296人でした。

・握力　　ー 立った姿勢で握力を測定しました。

・片足立ち時間ー 目を開けて片足立ちできる時間を測定しました。
15秒未満を運動機能低下の目安としました。

・3mTUG　　ー 椅子に座った状態から3メートル先の目印を回って元の椅子に座るまでの時間を測定しました。
11秒以上を運動機能低下の目安としました。

＊片足立ち時間、3mTUGの判定は運動器不安定症の機能評価基準を採用しました。

握力は年齢別に見ると全国平均とほぼ同様の結果でした。
片足立ち時間が15秒未満の方が180人(60.8%)でした。
3mTUGが11秒以上の方は26人(8.8%)でした。
受診地域による明らかな差は認めませんでした。

まとめ

- 市街地から離れた仮設住宅の居住者である柚木・大野台の受診者、みなし仮設住宅や市街地そばの仮設住宅の居住者である保健センターの受診者、玉野地区の受診者にわけて結果を示した。
- 肥満・高血圧・糖尿病疑いの人が、柚木・大野台の仮設住宅の居住者で多い可能性が示唆された。これらは生活習慣病と呼ばれており生活習慣が原因となっている可能性がある。
- 骨粗鬆症検査で要精密検査となる人が、玉野地区の居住者で多い可能性が示唆された。漁村と山村の住民の比較では山村住民で骨密度が低い傾向が言われているが、今後の検討が必要と思われる。
- 全般として片足立ち時間が短い人が多数見られ運動機能低下が示唆された。転倒事故が増えないか注意する必要が示唆される。